

## 第30回 障害のある市民の雇用フォーラムの開催について

総合支援学校卒業後 勤続10年・勤続5年の生徒を表彰  
継続雇用10年・継続雇用5年の企業に感謝状を贈呈

本市では、関係機関により構成する『巣立ちのネットワーク』を平成6年度から設置し、総合支援学校※生徒の進路先の拡大及び障害のある方々の就労の拡大に向け、企業や関係団体等と連携しながら更なる雇用促進のために尽力しています。

その取組の一環として、様々な分野の就職先で継続して勤務する総合支援学校卒業生を称え表彰するとともに、厳しい雇用情勢の中、継続雇用いただいている企業に感謝の念を表すために「第30回障害のある市民の雇用フォーラム」を下記のとおり開催します。

※京都市立総合支援学校及び京都教育大学附属特別支援学校を指す。

### 記

- 1 日時 令和5年11月8日(水) 13:30～16:30
- 2 会場 京都市総合教育センター 永松記念ホール(4F)  
(京都市下京区河原町通松原上る2丁目富永町344番地)
- 3 主催 総合支援学校生徒の進路開拓をめざす「巣立ちのネットワーク」、  
京都市、京都市教育委員会
- 4 内容  
<第1部> (1) 開会 挨拶 巣立ちのネットワーク代表 鈴鹿 且久氏(13:30～)  
京都市長 門川 大作  
(2) 表彰状及び感謝状贈呈式(13:40～)  
・勤続10年(28名)、勤続5年(50名)の方の表彰  
・継続雇用10年(24社)、継続雇用5年(45社)の企業への感謝状贈呈  
<第2部> (1) 発表「京都市立総合支援学校の進路の取組について」(15:30～)  
発表者：京都市立総合支援学校教員  
(2) 講演 ハローワーク京都七条障害者職業相談室 室長 南 富美代氏  
「障害のある人の雇用に関する支援について」  
(3) 閉会 挨拶 京都市立白河総合支援学校 中村 一郎(16:25～)

### (参考)「総合支援学校生徒の進路開拓をめざす『巣立ちのネットワーク』について

総合支援学校高等部生徒の進路先の開拓・開発及び卒業後の企業就労を支援するために、教育・労働・福祉及び家庭の連携を密にし、一人一人の障害に応じた進路を幅広く多様に確保するための情報交換及び社会啓発を行っている。

### 巣立ちのネットワーク 構成団体

代表：鈴鹿 且久(京都府高齢・障害者雇用支援協会会長 株式会社聖護院八ッ橋総本店代表取締役社長)  
京都市、京都市教育委員会、京都市立総合支援学校、京都教育大学附属特別支援学校、京都市立総合支援学校、PTA連絡協議会、京都手をつなぐ育成会、京都ジョブパーク、京都障害者就業・生活支援センター、しょうがい者就業・生活支援センターはあとふるアイリス、京都府高齢・障害者雇用支援協会、労働関係機関等 22団体